学校番号	414

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	（学）ライフスポーツ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。
・生涯スポーツにつながる種目の技術・技能を身に付け、運動する楽しさを味わおう。
・様々な学習形態を通して、自己表現の方法と他への思いやりを育もう。

2　学習の到達目標

【知識・技能】
生涯、スポーツと関わり健康を維持する能力と態度を養う。

【思考・判断・表現】
生涯スポーツにつながる種目の実践を通して、スポーツに関する興味・関心・意欲を高める。

【学びに向かう力、人間性等】
スポーツを通して、地域社会に積極的に寄与する意欲や態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 知識を活用し、技能向上につなげる。 記録や技能向上に挑戦する。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 生涯にわたって運動を継続し、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとすることで生涯にわたって運動を継続する態度を身に付ける。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期・2学期・3学期	球技 ゴール型・ネット型・ベースボール型・その他	季節・天候、環境に応じて、4つの型の中から選択して球技をおこなう。 ネット型 テニス バレーボール 卓球 バドミントン　等 ゴール型 サッカー バスケットボール ハンドボール アルティメット　等 ベースボール型 ソフトボール キックベースボール その他 フライングディスク ゴルフ	a: 球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。 b: 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 C:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組んでいる。	技能観察 ノート 等	ノート レポート 等	受講態度の観察 ノート レポート 等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度